

三味一体(世界バランス55MU)

2013年度（平成25年度）特別勘定の現況

●投資環境(2013年度)

日本株式市場

日経平均株価は期初12,371円で始まりました。4月の日銀の金融緩和を受け外為市場で円安が進行し、主に本邦輸出企業の業績改善への期待から5月に株価は15,942円まで上昇しましたが、6月には、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言や安倍首相の成長戦略への過度な期待の反動等の影響で、12,415円まで反落しました。その後は、一進一退を繰り返しながら下値を切り上げる展開となり、12月に外国為替市場において1米ドル＝105円台と円安が進む状況の中で、16,320円まで上昇し2007年12月以来の高値をつけました。年明け以降は、新興国通貨安等の影響で株価はやや下落し期末は14,827円で終了しました。

外国株式市場

期初、S&P500は1,569.18、FTSE100は6,411.74で始まりました。米国をはじめ世界各国では金融緩和方向の政策が採られる中、景気はゆるやかながら回復傾向を示し、市場ではリスクをとる動きから株価は堅調に推移し、5月にFTSE100は2000年1月以来の高値となる6,875.62をつけましたが、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言後の6月にFTSE100は6,023.44まで反落しました。その後は、徐々に上値を切り上げ、1月には6,867.42と5月の高値に接近しました。S&P500も6月に下落する場面がありましたが、米国債務上限引き上げ合意や堅調な米企業業績、米金融緩和継続期待などを背景に株価は年末に向けて上昇傾向を示しました。年始以降の主に通貨安から生じた新興国懸念により株価が反落する局面もありましたが、年度末に向け株価は一段と上昇し、3月にS&P500は史上最高値更新となる1,883.97をつけました。期末は若干値を戻しS&P500が1,872.34、FTSE100は6,598.37で終了しました。

日本債券市場

10年国債利回りは期初0.59%で始まり、4月に日銀の黒田新総裁による金融緩和策の一環として、買入れ国債の年限長期化が決定されたことから、10年国債利回りは0.32%と過去最低水準を更新しました。その後、市場で進行する円安・株高の影響等で10年国債利回りは5月に0.99%まで上昇しましたが、日銀の大量の国債買入により徐々に需給が引き締まり、10月に0.58%まで再び低下しました。年末には円安・株高の影響で10年国債利回りは0.75%まで上昇し、期末は0.64%で終了しました。

外国債券市場

期初、米国10年国債利回りは1.87%、ドイツ10年国債利回りは1.28%で始まりました。米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言等により、9月に米国10年国債利回りは3.00%まで上昇しました。また、独連邦議会選挙の結果、連立政権樹立への懸念やイタリア政局不安等から、ドイツ10年国債利回りは9月に2.08%まで上昇しました。11月には、ECBによる予想外の利下げが実施され、その後一進一退で推移しましたが、年始以降の通貨安等から生じた新興国懸念により利回りは低下傾向を示し、期末には米国10年国債利回りは2.71%、ドイツ10年国債利回りは、1.56%で終了しました。

外国為替市場

期初、1米ドル＝94.21円で始まりました。4月に日銀が導入を決定した「量的・質的金融緩和」等を背景に、5月に1米ドル＝103.74円となりました。一方、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言等の影響により、6月には1米ドル＝93.79円の円高水準となりました。しばらくもみ合いの後、GPIFの運用資産構成比見直しによる外貨建て資産への投資拡大や日銀の追加緩和期待等を背景に12月には1米ドル＝105.41円となり、2008年10月以来の円安水準となりました。年明け以降、新興国通貨下落等の影響でやや円高方向に振れ、1米ドル＝103.07円で期末を迎えました。また、ユーロにつきましては期初、1ユーロ＝120.65円で始まりました。景況感の改善等を受けユーロはゆるやかに上昇し、12月に1ユーロ＝145.69円となった後、1ユーロ＝141.96円で期末を迎えました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| ①当期の運用実績の推移 | 特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2013年度決算(決算日：2014年3月31日)を行いました。当資料は2013年度の運用状況をご報告するものです。
最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。
当資料中の資産運用関係費用は、2014年3月31日現在の消費税率(5%)を適用した信託報酬率を記載しています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	世界バランス 55MU
現預金・コールローン	203
有価証券	14,390
公社債	－
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	14,390
貸付金	－
その他	16
貸倒引当金	－
合計	14,610

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

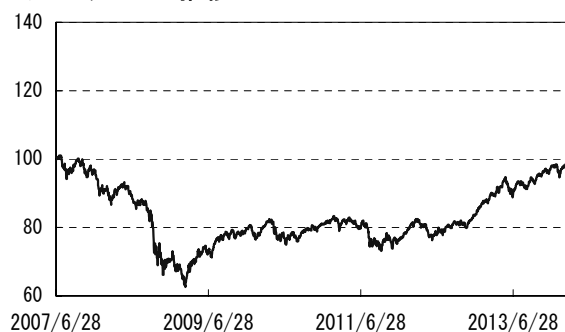
(単位：百万円)

区分	金額
	世界バランス 55MU
利息配当金等収入	659
有価証券売却益	－
有価証券償還益	－
有価証券評価益	2,858
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	1,708
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	1,809

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用状況(2013年度末)

●ユニットプライスの推移



●ユニットプライスの期間収益率(直近1年)

	ユニット プライス	前月比	期間収益率 (左記基準日より 2014年3月末現在まで)
2013年3月31日	89.64	2.10%	9.16%
2013年4月30日	92.01	2.64%	6.35%
2013年5月31日	92.79	0.85%	5.45%
2013年6月30日	90.55	-2.41%	8.06%
2013年7月31日	92.39	2.03%	5.91%
2013年8月31日	91.39	-1.08%	7.06%
2013年9月30日	93.71	2.53%	4.42%
2013年10月31日	95.62	2.05%	2.33%
2013年11月30日	97.13	1.58%	0.74%
2013年12月31日	98.16	1.05%	-0.31%
2014年1月31日	96.37	-1.82%	1.54%
2014年2月28日	97.97	1.66%	-0.12%
2014年3月31日	97.85	-0.12%	－

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

●特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託	14,390	98.5%
現預金その他	219	1.5%
純資産総額	14,610	100.0%

※保険契約の解約等の異動に備えて、若干の現預金を保有しています。

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス 55MU	三菱UFJバランスファンド 55VA (適格機関投資家限定)	343,071	367,000	3,777,321	3,508,536

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険 GF 三味一体(世界バランス 55MU)	2,455	14,552

※単位未満切捨て

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	世界バランス 55MU	三菱UFJバランスファンド 55VA (適格機関投資家限定)	三菱UFJ 投信	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行い、外国債券部分については原則として為替ヘッジを行いません。基本資産配分は、日本株式10%、外国株式(為替ヘッジあり)45%、外国債券(為替ヘッジなし)15%、日本債券(短期金融資産を含む)30%です。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

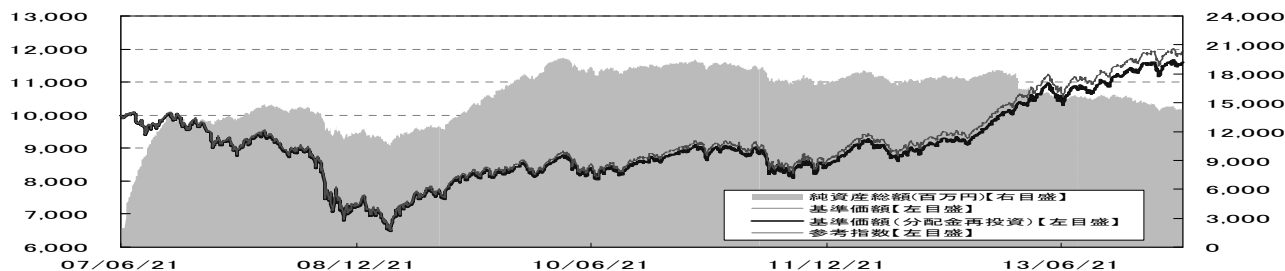
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ 投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



・基準価額、基準価額（分配金再投資）、参考指数は設定日前営業日を10,000として指数化しています。

・基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬控除後の値です。信託報酬率は、純資産総額に対し年率0.25%（税抜）です。

・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

・参考指数はNOMURA-BPI総合インデックス30%、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）10%、シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）15%、MSCI Kokusai Index（MSCIコクサイインデックス）（税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース）45%で組み合わせた合成指数です。なお、NOMURA-BPI総合インデックス、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）、シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）については設定日前営業日を、MSCI Kokusai Index（MSCIコクサイインデックス）（税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース）については設定日翌営業日をそれぞれ計算の起点としています。

・NOMURA-BPI総合インデックスとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI総合インデックスは野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の算出もしくは公表の停止または東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。シティ世界国債インデックス（除く日本）とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）とは、シティ世界国債インデックス（除く日本）をもとに、委託会社が計算したものです。MSCI Kokusai Index（MSCIコクサイインデックス）（税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI Kokusai Index（MSCIコクサイインデックス）（税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース）に対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

◆ファンド現況

	2014/3/31	前月末	前月末比
基準価額	11,610円	11,599円	+11円
純資産総額（百万円）	14,390	14,603	-212

◆資産構成

	標準 資産配分	ファンドの 資産構成
国内株式	10.00%	10.01%
国内債券	30.00%	29.77%
外国株式（ヘッジあり）	45.00%	45.50%
外国債券	15.00%	15.17%
短期金融商品	0.00%	-0.46%
合計	100.00%	100.00%

*ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率（純資産総額比）。

・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融商品」の値がマイナスで表示されることがあります。

（注）REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.09%	0.33%	5.85%	12.18%	29.37%	16.10%
参考指数	0.14%	0.41%	6.02%	12.72%	31.00%	19.35%
差	-0.04%	-0.08%	-0.16%	-0.53%	-1.62%	-3.25%

・ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しております。

また、ファンドの騰落率と実際の投資利回りは異なります。

・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆分配金実績（税引前）

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2014/2/20	2013/2/20	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

・1万口当たりの税引き前分配金実績です。

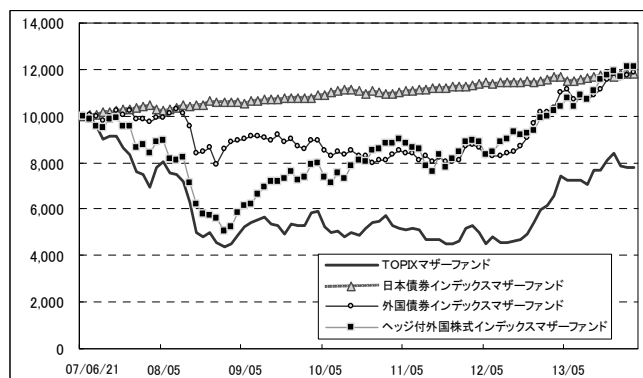
◆ファンドの特色

①日本債券インデックスマザーファンド受益証券、TOPIXマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券およびヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

②日本債券インデックスマザーファンド受益証券30%、TOPIXマザーファンド受益証券10%、外国債券インデックスマザーファンド受益証券15%およびヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド受益証券45%を標準資産配分とし、これを維持します。

③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1ヵ月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。

◆各マザーファンド基準価額推移



・グラフは三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日（ヘッジ付外国株式インデックスマザーファンドは設定日）を10,000として指数化しています。

（注）当資料は信頼できるとされる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

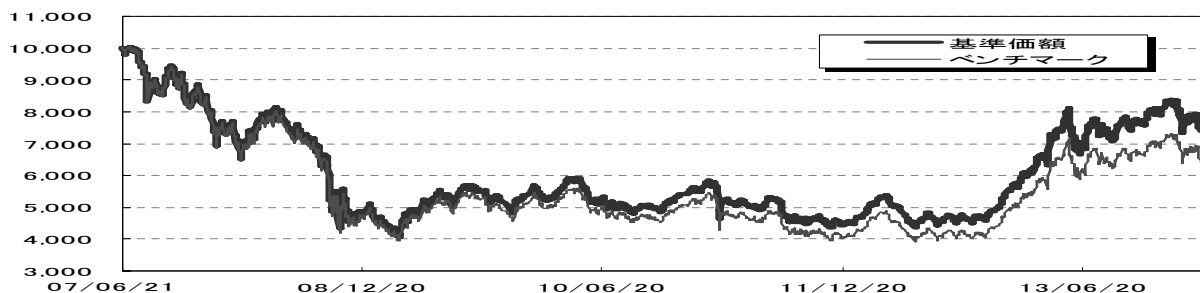
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ 投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 TOPIXマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を10,000として指数化しています。

・ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）です。・東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

◆資産構成

	2014/3/31	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	100.03%	100.03%	0.00%
内 現物	97.96%	98.93%	-0.97%
内 先物	2.07%	1.10%	0.97%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.23%	-6.70%	1.86%	18.60%	47.93%	-21.79%
ベンチマーク	-0.72%	-7.63%	0.74%	16.25%	38.36%	-32.56%
差	0.95%	0.93%	1.12%	2.34%	9.57%	10.77%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を起点として計算しています。

◆株式組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	12.67%	12.67%
2	輸送用機器	11.76%	11.76%
3	銀行業	9.35%	9.35%
4	情報・通信業	7.31%	7.31%
5	化学	5.43%	5.43%
6	機械	5.19%	5.20%
7	卸売業	4.63%	4.63%
8	医薬品	4.59%	4.59%
9	小売業	4.27%	4.27%
10	食料品	3.94%	3.94%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆株式組入上位10銘柄

（組入銘柄数：1781 銘柄）

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	4.65%	4.74%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.43%	2.48%
3	ソフトバンク	2.17%	2.21%
4	三井住友フィナンシャルグループ	1.89%	1.93%
5	ホンダ	1.87%	1.91%
6	みずほフィナンシャルグループ	1.50%	1.53%
7	日本電信電話	1.25%	1.28%
8	ファナック	1.16%	1.19%
9	JT	1.15%	1.18%
10	武田薬品工業	1.10%	1.12%

・比率は純資産総額に対する割合です。

注）当資料は信頼できるとされる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

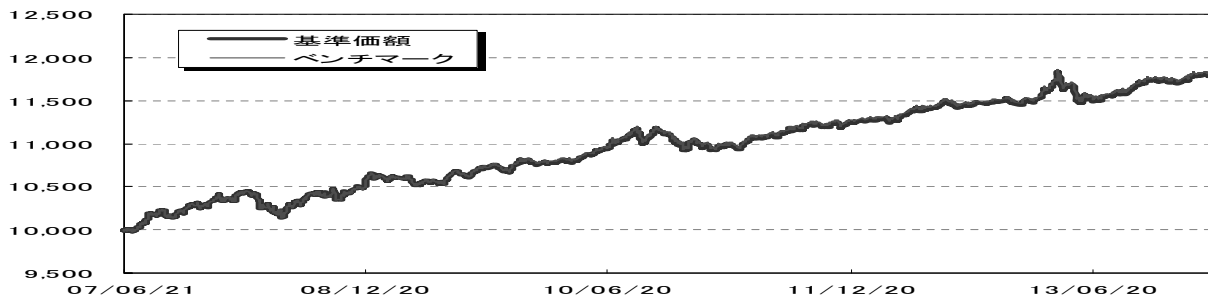
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ 投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 日本債券インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。

・ベンチマークは、NOMURA-BPI総合インデックスです。・NOMURA-BPI総合インデックスとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI総合インデックスは野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

◆資産構成

	2014/3/31	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	99.88%	100.00%	-0.12%
内 現物	99.56%	99.89%	-0.34%
内 先物	0.32%	0.11%	0.21%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.23%	0.79%	0.95%	0.56%	7.36%	17.81%
ベンチマーク	-0.23%	0.77%	0.96%	0.58%	7.39%	18.08%
差	0.00%	0.01%	-0.01%	-0.02%	-0.03%	-0.27%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の前営業日を起点として計算しています。

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	8.87年	8.47年
修正デュレーション	7.67年	7.62年
複利利回り	0.56%	0.56%

・数値は、修正デュレーションを除き債券現物部分について計算しています。

◆公社債種別構成比

種別	比率
国債	78.14%
政保債	3.94%
地方債	7.15%
金融債	1.03%
事業債	7.03%
円建外債	0.75%
MBS	1.37%
ABS	0.15%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債残存別構成比

残存年数	比率
1年未満	0.07%
1～3年	23.25%
3～7年	30.55%
7～10年	16.36%
10年以上	29.33%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 846 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第116回利付国債(5年)	国債	0.200%	2018/12/20	1.53%
2	第285回利付国債(10年)	国債	1.700%	2017/3/20	1.47%
3	第281回利付国債(10年)	国債	2.000%	2016/6/20	1.21%
4	第332回利付国債(10年)	国債	0.600%	2023/12/20	1.20%
5	第329回利付国債(10年)	国債	0.800%	2023/6/20	1.15%
6	第287回利付国債(10年)	国債	1.900%	2017/6/20	1.15%
7	第284回利付国債(10年)	国債	1.700%	2016/12/20	1.14%
8	第276回利付国債(10年)	国債	1.600%	2015/12/20	1.11%
9	第106回利付国債(5年)	国債	0.200%	2017/9/20	1.06%
10	第325回利付国債(10年)	国債	0.800%	2022/9/20	1.06%

・比率は純資産総額に対する割合です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

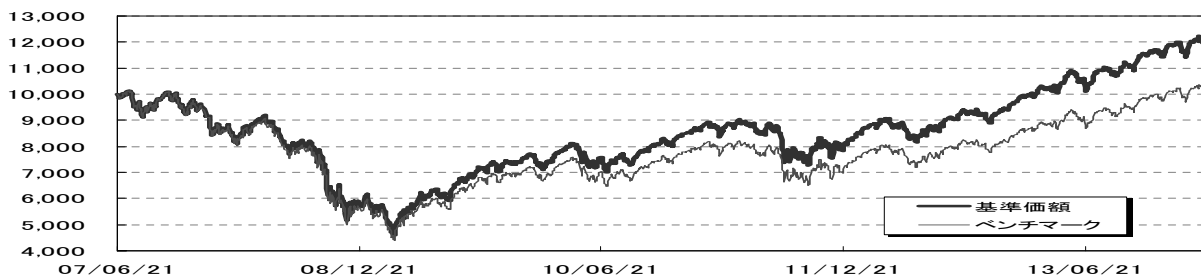
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ 投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 ヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）を（ベンチマークは設定日の翌営業日）10,000として指数化しています。

・ベンチマークは、MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) (円ヘッジ・円ベース) です。・MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) (円ヘッジ・円ベース) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) (円ヘッジ・円ベース) に対する著作権及びその他の財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

◆資産構成

	2014/3/31	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	101.39%	99.91%	1.48%
内 現物	99.31%	97.70%	1.61%
内 先物	2.08%	2.22%	-0.14%

・比率は純資産総額に対する割合です。

(注) REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

◆株式国別配分上位

	国名	比率
1	アメリカ	59.50%
2	イギリス	9.49%
3	フランス	4.54%
4	カナダ	4.50%
5	ドイツ	4.27%
	その他	17.70%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆株式組入上位10業種

	業種	比率
1	エネルギー	10.32%
2	銀行	9.98%
3	医薬品・バイオテクノ・ライフ	9.06%
4	資本財	7.72%
5	ソフトウェア・サービス	6.82%
6	食品・飲料・タバコ	6.14%
7	素材	5.73%
8	保険	4.24%
9	各種金融	4.08%
10	テクノロジー・ハードウェア・機器	3.94%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

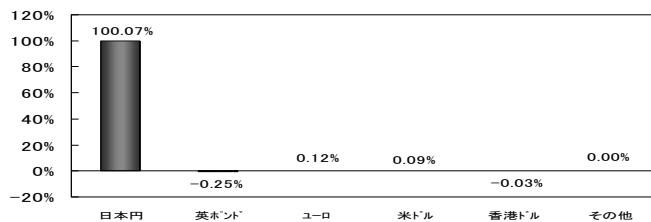
◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.12%	1.62%	9.12%	18.19%	37.27%	21.13%
ベンチマーク	-0.32%	1.17%	8.12%	15.67%	27.51%	2.62%
差	0.20%	0.45%	1.00%	2.52%	9.77%	18.51%

・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

・ベンチマークの設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の翌営業日を起点として計算しています。

◆通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

◆株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1290 銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	1.63%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.44%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.08%
4	GOOGLE INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.05%
5	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.93%
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.89%
7	WELLS FARGO & CO	アメリカ	銀行	0.83%
8	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.82%
9	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.77%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.76%

・比率は純資産総額に対する割合です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

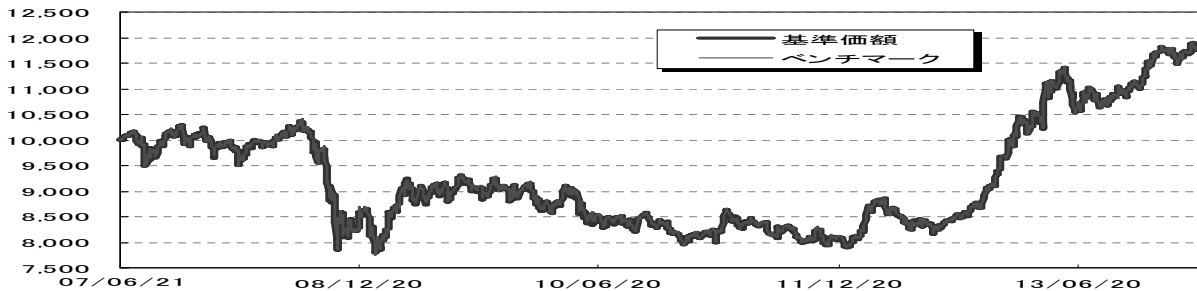
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ 投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 外国債券インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を10,000として指数化しています。

・ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）です。・シティ世界国債インデックス（除く日本）とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）とは、シティ世界国債インデックス（除く日本）をもとに、委託会社が計算したものです。

◆資産構成

	2014/3/31	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	99.76%	99.67%	0.08%
内 現物	99.76%	99.67%	0.08%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.44%	0.45%	9.23%	15.16%	42.03%	18.86%
ベンチマーク	1.49%	0.31%	8.98%	15.04%	42.04%	18.81%
差	-0.06%	0.15%	0.25%	0.11%	-0.01%	0.06%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を起点として計算しています。

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	7.72年	7.77年
修正デュレーション	6.00年	6.08年
複利利回り	1.71%	1.73%

・数値は、債券現物部分について計算しています。

◆公社債通貨別構成比

	通貨	比率
1	ユーロ	44.83%
2	米ドル	37.98%
3	英ポンド	7.86%
4	カナダドル	2.30%
5	オーストラリアドル	1.60%
	その他	5.17%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債残存別構成比

残存年数	比率
1年未満	1.29%
1～3年	29.54%
3～7年	33.14%
7～10年	14.68%
10年以上	21.10%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債組入上位10銘柄

（組入銘柄数：651銘柄）

銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1 0.375 T-NOTE 160315	国債	0.375%	2016/3/15	アメリカ	0.57%
2 2.5 T-NOTE 230815	国債	2.500%	2023/8/15	アメリカ	0.46%
3 2.625 T-NOTE 201115	国債	2.625%	2020/11/15	アメリカ	0.43%
4 3.5 O.A.T 200425	国債	3.500%	2020/4/25	フランス	0.39%
5 0.75 T-NOTE 171031	国債	0.750%	2017/10/31	アメリカ	0.38%
6 3.75 O.A.T 210425	国債	3.750%	2021/4/25	フランス	0.38%
7 3.25 O.A.T 211025	国債	3.250%	2021/10/25	フランス	0.38%
8 4.25 O.A.T 231025	国債	4.250%	2023/10/25	フランス	0.38%
9 1.75 T-NOTE 230515	国債	1.750%	2023/5/15	アメリカ	0.37%
10 2.5 T-NOTE 150331	国債	2.500%	2015/3/31	アメリカ	0.36%

・比率は純資産総額に対する割合です。

注）当資料は信頼できるとされる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。

	項 目	内 容	費 用	備 考(適用時期等)
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の 4%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用 (保険契約管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して 年率 2.55%	特別勘定の純資産総額に対して年率2.55%/365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用 関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して 年率 0.2625% (税抜0.25%)程度	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して 年率0.2625%程度/365日を 乗じた額を毎日控除します。
年金支払 期間中	保険関係費用 (年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0% 以内	年金支払開始日以降、年1回の 年金支払日に責任準備金から 控除します。

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。

なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて

この商品はご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動(増減)につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。

また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。

ご注意いただきたい事項

■「投資型年金保険 三味一体(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

■「投資型年金保険 三味一体(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金(年金支払期間15年)のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社
〒167-0043
東京都杉並区上荻一丁目2番1号 インテグラルタワー
TEL 03-6383-6811(大代表)
ホームページ <http://www.tmn-financial.co.jp>

ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは
0120-155-730

受付時間 月～金/9:00～17:00
(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)



211606